

主要経緯

- 平成 19 年 10 月～平成 20 年 9 月 4 日

No.1 タンク内点終了し、保安検査済証受領するものの、消防局から詳細なデータが採取できる連続板厚測定機を使った検査の推奨あり

- 平成 20 年 10 月 3 日～5 日

連続板厚測定機を使い、代表部位測定を行なった結果、減肉箇所 3 箇所が確認され補修実施

- 平成 20 年 10 月 15 日

減肉部が検出されたことから、消防局より底板全面連続測定の再指導

- 平成 20 年 12 月 8 日～平成 21 年 1 月 18 日

10 月未実施の底板部の連続測定を実施するために、サンドブラスト及び防食塗装実施。サンドブラスト後、平成 20 年 12 月 15 日に貫通部 2 ヶ所を発見し、貫通部周辺を 30 mm ピッチで板厚測定後、現状保存のためマスキングを実施。

- 平成 21 年 1 月 19 日～2 月 13 日

底板全面連続測定を 5 mm ピッチで実施

- 平成 21 年 2 月 20 日

検査結果を消防局へ報告

「底板 7 枚に不具合があり、最小は 2.1 mm だった」

貫通部周辺はマスキングしていたので、連続測定データが採取できなかったため、平成 20 年 12 月 15 日に測定した 30 mm ピッチでの測定結果を基に肉厚 2.1 mm としてデータを入力（九電指示）

- 平成 21 年 4 月 13 日～5 月 14 日

穴貫通部周辺を含む減肉部分の補修工事を実施

九電より破孔を口外しないよう関係者へ要請

- 平成 21 年 7 月 31 日

タンク工事完了（完成検査済証受領）